



あけまして おめでとうございます

校長 宮崎美代子

元旦からよいお天気に恵まれ、穏やかな新年を迎えることができました。

この一年が、子どもたち、保護者のみなさま、そして地域のみなさまにとって、喜びあふれる充実した年になりますことを心より願っております。

さて、平成30年の今年、茅ヶ崎小学校は創立30周年の節目を迎えます。「創立30周年記念事業実行委員会」を組織し、準備に向けた話し合いをスタートさせていきます。

茅ヶ崎小学校の子どもたちは、日々地域の方々の温かい見守りとご支援の中で過ごしておりますが、この30周年記念事業を通して、子どもたちが改めてそのことに感謝し、この茅ヶ崎のよさを感じ、茅ヶ崎の地に愛着と誇りをもって「ふるさと」として大切にしていこうとする気持ちを高めていってほしいと思います。

また、30周年に向けてもう一つ大事にしていきたいことは、子どもたち自身が30周年の行事等に主体的かつ意欲的に取り組んでいってほしいということです。そのために、児童会を中心に、子どもたちの声を集め、子どもたちの思いや願いをいろいろな場面で取り入れていきたいと考えております。

子どもたちは、いずれこの学校を卒業し大人になっていくわけですが、大人になってからも「自分たちで学校の30歳のお祝いをするのができた。」「あの時、みんなで…をしたのが楽しかった。」「…をがんばった。」と懐かしく思い出してくれるような記念行事にしたいと思っております。

本日からスタートする後期後半は、学習面でも生活面でもまとめの時期となります。子どもたち一人ひとりが自分の成長を感じ、自信をもって29年度を締めくくられるように指導、支援していきたいと思っております。保護者のみなさま、地域のみなさまにおかれましては、昨年同様、学校教育へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。



都筑・ポツワナ交流児童画展

8月に本校3年生の描いた絵がポツワナ共和国ベン・テマ小学校に送られました。

それらの絵が12月21日から、ベン・テマ小学校の児童が描いた絵とともに交流児童画展として区役所1階区民ホールに展示されました。

12月22日(金)には、ポツワナ共和国大使館よりNkoloi NKOLOI(ンコロイ ンコロイ)大使とKatlego W.Phele(カテホ W.ペレ)一等書記官が、都筑区役所においてになり児童画展をご覧になりました。

Nkoloi NKOLOI 大使は、「アートの才能を伸ばしている。」「小学生の時から外国の学校とこのように交流をもった子どもたちは、きっと国際的な人に育つだろう。」「ベン・テマ小の子どもたちの絵も茅ヶ崎小の子どもたちの絵も自分の国の特色ある所を相手に伝えようとしている。絵に情熱が籠っている。」とおっしゃっていました。畑澤健一都筑区長さんからも「子どもたちの絵がどんどん進化してきている。」というお言葉をいただきました。ベン・テマ小学校の子どもたちの絵には、ゾウなどの野生動物をはじめとして、ポツワナの人々が生活している様子が生き生きと描かれていました。茅ヶ崎小の子どもたちが見たら、きっと喜ぶだろうと思うものばかりでした。

つぎMYプラザ、都筑区役所等関係各所に多大なご支援をいただいていることに感謝しつつ、子どもたちが、ポツワナ共和国とそこに暮らす人々に思いを馳せてくれることを願っています。

